

## 平成29年度事業報告書

### 全 般

平成29年度は、諸事業を概ね計画どおり実施することができた。

総観覧者数については、4年連続20万名を超えたものの、232,436名（昨年比91.7%）であり、3年連続25万名は達成できなかった。

売店売上額については、観覧者数の減少の影響で54,869千円（昨年比87.3%）となり、過去最高額を記録した昨年度には及ばなかった。

展観態勢については、展示のIT化による充実を図るとともに、特別展「三笠秘蔵連合艦隊艦隊コレクション」を延長開催し、観覧層の拡大に努めた。

### 1 艦の修理整備

上甲板の腐食鋼材、腐食木甲板の新替え及び船体塗装等の修理整備及び観覧者の安全対策のため工事を実施した。

#### (1) 官（海上自衛隊）による修理工事

##### （電気の部）

ア 中甲板展示室等の照明器具（15か所）をLEDに新替え

イ 高圧受電設備定期点検・整備

##### （船体の部）

ア 後部木甲板

腐食木甲板の撤去、新替え、表面処理、液体ガラス塗装及び木甲板目地部にシリコン充填

イ 後部ウォーターウェイ

木部腐食部の撤去、切削加工、埋め木、表面処理、液体ガラス塗装

ウ 後部甲板通風口跡

撤去ののち、木甲板下面と面一となるように鋼板を溶接、塗装

エ 後部甲板天幕支柱

支柱受け金物の作成、甲板に溶接、塗装

オ 後部木甲板取付スタットねじ

腐食した木甲板取付スタットねじの新替え

カ 冷房装置

故障中の講堂左舷及び下甲板右舷の空調装置の修理

キ 外板板厚計測

両舷8箇所ずつの外舷からの板厚計測

#### (2) 保存会による整備

ア 定期消防設備等点検（年2回、業者委託）

イ 少量危険物貯蔵所の立入検査（消防局）

- ウ 中央展示室周囲通路のワックスがけ（年2回、業者委託）
  - エ 補助砲の整備（2門）（業者委託）
  - オ サーバー室に電話機を新設（業者委託）、物品格納棚（3段式）2基を設置
  - カ 講堂の映像装置及びオーディオ装置の換装（業者委託）、掛け時計新替
  - キ 講堂入口手前横通路のダクト撤去、照明灯換装（業者委託）
  - ク 下甲板砲塔倉庫内に湧水溜めを新設（業者委託）
  - ケ 長官室スタンウオーク出入口ドアにドアクローザーを新設（業者委託）
  - コ 4番砲室後部外側隔壁へのテレビ設置
  - サ 木甲板腐食部の補修（シルバー人材センター委託）
  - シ 上甲板内舷、構造物の塗装（シルバー人材センター委託）
  - ス 長官公室左舷壁面修理（職員）
  - セ 後部艦橋ドアの破損修理（職員）
  - ソ ビデオ室入口ドア内側塗装補修（職員）
- (3) 海上自衛隊隊員等による奉仕整備
- ア 第2術科学校海士各課程学生による艦内外の清掃及び真鍮磨きの奉仕作業を計12回（延べ141名）
  - イ 横須賀地区上級海曹会会員、隊員有志及び米海軍とその家族による上甲板全面洗浄奉仕作業
    - (ア) 5. 21（土）120名
    - (イ) 8. 26（土）140名
    - (ウ) 10. 29（土）荒天中止
  - ウ その他
    - 5. 20（土）、11. 13（日）はたかぜ後援会会員（約10名）による奉仕（艦周辺の除草）
- (4) 高潮被害
10. 23（月）台風21号の接近に伴う高潮が発生し、後部通用口からの浸水、倉庫等の艦底部から湧水が発生した。排水ポンプ及びバケツ等を使用して排水作業を行い夕刻完了しました。

## 2 展観態勢

### (1) 資料の寄贈等

- 勲章：勲7等金鷄勲章及び勲記（中島啓良氏）
- 書：東郷平八郎書掛軸3点（古要祐慶氏）
- 計器：照準望遠鏡2本（豊嶋康人氏）

### (2) 収蔵資料の現況

区分 種類	三笠保存会 (所蔵品)	海上自衛隊 (無償借受)	個人 (寄託)	29年度 受入	合計
勲章	55	0	12	1	67
武器	64	0	3	0	67
絵画	82	5	8	0	95

印刷	159	11	2	0	172
書	185	52	40	1	277
被服	86	0	9	0	95
写真	307	195	9	0	511
証紙	112	0	5	0	117
旗布	14	0	3	0	17
工作	125	21	12	0	158
陶器	19	0	4	0	23
彫刻	21	0	1	0	22
模型	21	9	37	0	67
計器	18	0	3	1	21
録音	28	0	0	0	28
図書	79	0	2	0	81
展示物品	0	8	0	0	8
合計	1,375	301	150	3	1,829

(3) 資料の貸出

28.10.2(水)から29.12.22(金)までの間、産経新聞社等の主催する「司馬遼太郎没後20年記念展」のために資料2点(「三笠艦橋の図(馬堀浩昭模写)」、「連合艦隊解散の辞」)を貸し出した。

(4) 遺産の認定

ア 日本遺産の構成文化財に認定

4.28(木)日本遺産「鎮守府 横須賀、呉、佐世保、舞鶴～日本近代化の躍動を感じるまち～」の構成文化財に追加認定された。30.3.14(水)には三笠入口に日本遺産の標柱が設置された。

イ 重要科学技術史資料(愛称:未来技術遺産)に認定

9.12(火)三六式無線電信機(複製品)が科学技術の発達史上重要な役割を果たし、国際的に日本の科学技術発展の独自性を示すものとして認定された。

(5) 展示のIT化事業

29.3.27(月)から以下のタッチパネル方式の説明装置の運用を開始した。

- ・ 戦艦「三笠」の構造の説明及び艦内旅行
- ・ バルティック艦隊の東航の説明

(6) VR日本海海戦

HMD(ヘッドマウントディスプレイ)を装備することで日本海海戦当初の戦闘をバーチャルリアリティ空間の最上艦橋で体感することができる装置を導入、6.1(木)から運用を開始した。

(7) 日本海海戦操艦シミュレーター

日本海海戦当初の連合艦隊旗艦「三笠」の運動を模擬できる操艦シミュレーターを導入、5.31(水)から運用を開始した。

(8) 構造物延命化に関する研究

5. 3 1 (水)「船体の防錆のために逆電流を流す必要がある。」との最終報告書を受領した。

(9) その他

ア 日露戦争当時の艦船模型 8 4 隻のうち、4 隻(累計: 1 5 隻)が納入された。

イ 絵画(三笠艦橋の図ほか7点)、双眼鏡(カールツアイス)等及び楽器(3点)の専門業者による修復を完了した。

ウ 追悼室三笠殉職者銘板の整備

エ 1 2. 2 0 (水) 上甲板中部の三笠艦橋の図パネルを換装した。

オ 中央展示室前部にタッチパネル展示、VR展示等の紹介画像放映用テレビモニターを設置した。

3 特別展

三笠秘蔵 連合艦隊 艦隊コレクション

日露戦争時の連合艦隊及びロシア艦隊(バルチック艦隊)並びに太平洋戦争時の連合艦隊及び海上自衛隊自衛艦隊の艦艇模型約 2 6 0 隻を展示中で、大好評のため 3 0. 3. 3 1 (土)まで期間を再延長、3 0. 4. 1 (日)から常設展に移行した。

4 主催行事

(1) 日本海海戦 1 1 2 周年記念行事

5. 2 7 (土) 三笠講堂において、吉田横須賀市長、道満横須賀地方総監、井上自衛艦隊司令部幕僚長、キム米海軍横須賀基地司令はじめ内外多数のご来賓及び三笠会員の皆様の出席をいただき、「記念式典」を厳粛かつ盛大に挙行了した。

北朝鮮情勢もあり、米海軍指揮官の出席は基地司令のみとなったが、土曜日ということもあり会員の参加者が多く、式典に引き続き行われた横須賀音楽隊による「艦上演奏会」及び「艦上祝宴」ともに大盛況であった。

また、式典開始前には、裏千家淡交会横須賀支部のご協力による呈茶も行われ、多くの方が楽しまれた。

式典参加のご来賓及び出席された三笠会員方々の内訳は次のとおりです。

区 分	出席者数	区 分	出席者数
議員等	1 4	友好団体	2 8
自衛隊部隊指揮官等	2 4	個人支援者	9
外国武官、米海軍指揮官等	8	三笠保存会評議員、理事等	3 0
ご係累	2 2	三笠保存会会員	3 4 1
国、県、市職員等	1 0	合 計	4 8 6

(2) 三笠こどもミュージアム

7. 1 5 (土) から 8. 2 7 (日) までの間、次のイベント等を実施した。

ア 「書き込んで完成! 三笠こどもノート」の配布

イ 三笠スタンプラリー(中学生以下限定)の実施

ウ 軍服着用記念撮影コーナーの開設(主に土日祝日)

オ ハンモック体験コーナーの開設(土日祝日のみ)

カ みかさ工作ルームの開設

キ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付

(3) 船の模型コンクール (第54回)

横須賀市内の小学校27校から619点の出品があり、横須賀市教育委員会の杉戸美和指導主事による審査を行い、金賞から努力賞まで65名の作品を選考、9.9(土)午前講堂において表彰式を行った。全作品を9.9(土)から10.11(水)まで下甲板において展示、金賞作品6点は次回開催まで中甲板右舷通路に展示する。

(4) 子供たちのプラモデル教室

10.7(土)子供22名と保護者20名の参加を得て、プロモデラー長谷川伸二氏及び(有)モデルアートの協力を得て後甲板で開催した。

(5) 三笠×MIKASAタッグキャンペーン

記念艦「三笠」が日本遺産に追加認定されたことを記念し、「三笠ビル商店街」、「記念艦三笠」、「横須賀集客促進実行委員会」の共同企画である同イベントを次のとおり実施した。

ア 10.25(水)商店街入口に立体模型の横断幕を設置(30年末頃までの予定)

イ 11.3(金)~12.27(水):商店街と記念艦が相互に特典を提供する「トクトク特典キャンペーン」

ウ 12.2(土):三笠ビル商店街での「三笠日本遺産追加認定記念講演会」

エ 12.2(土)~10(日):三笠ビル商店街での「日本遺産パネル展」

オ 12.2(土)~27(水):横須賀パワースポット(記念艦三笠、三笠ビル商店街、諏訪大神社、豊川稲荷、諏訪神社)めぐり「スタンプラリー」

(6) お正月イベント

正月三が日は「お正月は三笠でパワーをもらおう!」をスローガンに次のイベントを開催し、2,865名の家族連れが訪れた。

ア パワースポット巡り

イ 日本海海戦で活躍した有名な海軍軍人のスタンプラリー

ウ 甘酒サービス

エ 掲揚軍艦旗等プレゼント申込み受付

オ 艦橋操舵室及び伏見宮殿下私室の特別公開(明治150年特別企画)

(7) 書初め大会(第25回)

1.4(木)横須賀市内の小学校6校から37名の子供たちの参加を得て、下甲板において開催した。同日、横須賀市教育委員会の伊藤睦美指導主事による審査を行い、金賞から努力賞までの作品を選考し、15時から表彰式を行った。作品は1.6(土)から1.16(火)の間、艦内(第2ビデオ室)で展示した。

(8) 新春凧あげ教室

1.7(日)14名の参加者を得て、「三浦の浜で凧をあげる会」の指導協力のもと、三笠下甲板と三笠公園において開催した。午前中は自分たちで書いたオリジナルの絵を持ち込んで和凧作りを行い、午後からは三笠公園内の芝生広場で「凧あげ」に挑戦した。

(9) こどもラジオ教室

3. 21 (水) 小中学生等参加者10名の参加を得て、講師として三笠保存会評議員太田氏、工作指導としてYRPアマチュア無線クラブ等8名の協力のもと下甲板ホールにおいてこどもラジオ教室を開催し、ゲルマニュームラジオの製作に取り組んだ。

## 5 協賛行事等

- (1) 企画展「日本を護る艦たちー海上自衛隊の艦艇ー志磨 隆氏作品展」  
2. 25 (火) から4. 2 (月) までの間、同作品展示会場として5番砲室、7番砲室を提供し、協賛した。
- (2) World of Warship×ハイスクールフリート コラボ展  
4. 8 (土) から5. 14 (日) までの間、同コラボ展の会場として下甲板ホールを、4. 8 (土) オープニングトークショー会場として講堂を提供し、協賛した。
- (3) 宮武一貴画集発売記念サイン会  
5. 20 (土) サイン会場として講堂を提供し、協賛した。
- (4) 三笠艦記念第9回スポーツひのまるキッズ関東小学校柔道大会  
5. 21 (日) に横須賀市総合体育館で開催された同大会に協賛するとともに、荒川理事長及び中塚事務局長が大会を観戦した。(参加小学生約650名)
- (5) 2017よこすかカレーフェスティバル  
6. 3 (土) 及び6. 4 (日)、三笠公園で開催された同フェスティバルに協賛し、観覧料(大人、シニア、高校生)を一律300円(中学生以下は無料)とした。  
(来艦者: 5,765名: 昨年比98.2%)
- (6) よこすかYYのりものフェスタ  
6. 11 (土) 及び12 (日)、三笠公園で開催された「よこすかYYのりものフェスタ」に協賛し、観覧料(大人、シニア、高校生)を一律300円(中学生以下は無料)とした。(来艦者: 3,905名: 昨年比85.7%)
- (7) 三笠・猿島探検隊  
6. 17 (土) 近代歴史遺産活用推進協議会企画ツアー「親子で行く 三笠、猿島探検隊」に協賛し、三笠の説明、DVD「語り継ぐ想い」の上映、艦内案内を行った。(参加者: 90名)
- (8) 記念艦三笠日本遺産認定記念行事
  - ア 6. 17 (土) 日本遺産認定記念ウォーク
  - イ 8. 3 (木) から8. 20 (日) まで、横須賀市立図書館で開催された日本遺産認定記念パネル展
  - ウ 10. 18 (水) から10. 23 (月) まで、横須賀市内百貨店美術画廊で開催された日本遺産認定記念パネル展
  - エ 10. 28 (土) から30. 3. 11 (日) まで、鎮守府をめぐる 海軍さんのまちスタンプラリー
    3. 17 (土) スタンプラリー4都市コンプリート者の表彰式等(参加者約30名)
- (9) 横須賀軍港応援団  
6. 17 (土) 同応援団に協賛し、認定証授与式会場として士官室を提供した。

- (参加者 34 名)
- (10) 陸海空自衛隊准曹OB会と現役の集い講演会  
6. 24 (土) 同集いに協賛し、講演会場として講堂を提供した。(参加者 102 名)
- (11) 市民大学講座「ラジオ教室」  
6. 16 (金) 及び 6. 30 (金) 三笠保存会評議員太田現一郎氏が講師を務める同講座に協賛し、会場として下甲板を提供した。(各参加者 25 名)
- (12) 五島沖合に海没処分された潜水艦調査  
ラ・プロンジェ深海工学会等が主催する次の行事に協賛した。  
ア 7. 8 (土) 潜水調査の講演会会場として講堂を提供した。(参加者 177 名)  
イ 8. 22 (火) から 8. 25 (火) まで、潜水調査ライブ放送の会場として下甲板を提供した。  
ウ 12. 3 (日) 「五島列島沖合に海没処分された潜水艦 24 艦の調査」講演会会場として講堂を提供した(参加者約 60 名)。
- (13) よこすか灯籠流し  
7. 16 (日) 「よこすか灯籠流し」に協賛し、上甲板を灯籠見送り場所として提供した。(乗艦者：1,336 名)
- (14) ドル街横須賀  
7. 30 (日) から、横須賀集客実行委員会主催の「ドル街\$横須賀」に協賛し、「観覧券を米ドルで購入できる態勢」とした。
- (15) よこすか開国花火大会  
8. 6 (土) 「よこすか開国花火大会」に協賛し、上甲板を主催者及び三笠保存会招待者に無料開放した。(来艦者：642 名)
- (16) 平成 29 年度横須賀夏期防衛講座  
9. 2 (土) 同講座共催団体として、講演会(講師：笹川平和財団特任研究員渡辺恒雄氏)会場として講堂を提供した。
- (17) アマチュア無線三笠艦上臨時局開設  
9. 16 (土) 及び 9. 18 (月) アマチュア無線同好グループ「芙蓉懇談会」の主催する同臨時局開設に協力した。
- (18) よこすか海洋シンポジウム 2017  
10. 15 (日) 横須賀市民会議主催の同イベントに協賛し、会場として講堂を提供した。(参加者 136 名)
- (19) 外国人 YOKOSUKA Circle Bus  
10. 17 (火) 及び 10. 21 (土)、同イベント(外国人乗り降り自由の横須賀周辺無料バス運行)に協賛し、バス利用者の大人観覧料 600 円を 500 円にした。
- (20) 第 5 回 Yokosuka 海道ウォーク  
10. 21 (土) 横須賀市内で行われた同イベントに協賛し、協賛金及び抽選会景品を供出した。
- (21) ヨコスカアニバル  
10. 28 (土) 三笠公園等で行われた同イベントに協賛し、アニバル参加者のコスプレイヤーに撮影場所として前甲板を提供した。

- (22)煎茶道 三癸亭賣茶流 三笠煎茶会  
10. 29 (日) 同煎茶会に協賛し、会場として士官室を提供した。(参加者約50名)
- (23)国旗のある自由画展  
11. 8 (水) から11. 27 (月) まで、国旗協会の作品展に協賛し、第2ビデオ室に入選作21点を展示した。
- (24)よこすか産業まつり  
11. 5 (土) 及び6 (日) 「よこすか産業まつり」に協賛し、観覧料(大人、シニア、高校生)を一律300円(中学生以下は無料)とした。(来艦者:3,079名)
- (25)みなとフェスタ2017(ボーイスカウトみなと地区大会)  
11. 29 (日) 三笠公園で行われた同大会に協賛し、旗流ゲーム及び三笠観覧に協力した。(参加者約320名)
- (26)クラシックジャパンラリー R134  
㈱インプレッション主催、神奈川県、横須賀市、横須賀集客促進実行委員会などが後援する同イベントに協力し、0700からの観覧に協力するとともに参加者受付場所等を提供した。12. 2 (土) 108名、3. 17 (土) 148名
- (27)横須賀市民割り  
2. 1 (木) から2. 28 (水) まで「横須賀市民割り」に協賛し、横須賀市民の観覧料(大人、シニア、高校生)を一律300円とした。(市民割来艦者:275名)
- (28)海洋教育フォーラム  
3. 17 (土) (公社) 日本船舶海洋工学会、海洋教育推進委員会主催のフォーラム「私たちの海—水産資源と町づくり—」に協賛、会場として三笠講堂を提供した。約80名の参加者に対し、フォーラム終了後三笠の紹介ビデオ「語り継ぐ想い」を上映した。

## 6 広 報

### (1) 広報資料の配布

- ア 8月:今年度来艦した旅行業者(259社)に再来艦気運醸成のためパンフレットを送付した。
- イ 11月:同上(218社)
- ウ 11月:学会事務局(159か所)、自衛隊基地等のある商工会議所(126か所)に三笠研修計画作成依頼のための資料を送付した。
- エ 3月:旅行シーズンに合わせて東北、関東、東海、中部、関西、中国及び九州1都2府16県の旅行会社10,500社に挨拶状を添え記念艦三笠、軍港めぐり、猿島及びポートマーケットのパンフレットを送付した。

### (2) 委託ガイドによる定時艦内ガイドツアー

土日及び祝日に三笠観覧者の希望者に艦内ガイドツアーを571回(5回/日、延べ14,378名)実施した。

### (3) 乗艦者アンケート調査

8. 4 (金) から8. 26 (土) までの主に週末8日間、(公社) 日本広報協



会に依頼し、後甲板において観覧終了者を対象（1,056名）にアンケート調査を実施した。その結果のポイントは次のとおりである。

ア 全般的に好意的評価が多い。

イ 「リピーター」が2割、「再訪意向・他者への推奨」が7割以上いたことは注目に値する。

ウ 来艦動機で「観光」が6割、「戦艦・歴史に興味」を引き離しており、観光地としての潜在的需要が高いと推測される。

エ 情報入手手段としてHPの割合が高く、SNSを含めた「口コミ」が活用されている。

(4) 看板等の設置

京急横須賀中央駅にステーションメディアを、京急汐入駅に電光銘板を設置した。

(5) SNS広報

29年度から、SNS担当者を新たに雇用し、フェイスブック、ツイッター、インスタグラム、グーグルマップ、トリップアドバイザーなどでの情報発信を開始した。国内外多数の旅行者が参照する世界最大に口コミサイトであるトリップアドバイザーでは関東地区歴史博物館約300館中3位の高評価を得る成果を上げている。

(6) メールマガジンの配信

三笠に対する関心を維持向上するため、役員及び会員等の希望者に対し行事の予定、実施の状況等をお知らせするメールマガジンを4回配信した。

(7) 会報「みかさ」の発行

「みかさ」第31号を作成し、会員及び関係先に配布した。

(8) 広報記事の新聞等への掲載

読売、毎日、産経、朝日、神奈川、デイリースポーツ、タウンニュースなどに記念艦「三笠」と特別展等のPR記事を掲載した。（有料12件、無料35件）

(9) 観光事業者等との交流

11.16（木）横須賀市観光協会主催の商談会に職員を参加させ、参加旅行者へPR活動を実施した。

(10) 報道機関等への協力

ア テレビ局等への協力

協力先	協力内容
BS12	「サヘルローズのイチオシNIPPON」
日本テレビ	「笑ってこらえて」
JCOM湘南	「YOKOSUKA ほっとナビ」
テレビ朝日	「タモリ倶楽部」
BS朝日	「歴天」
BS TBS	「夢の鍵」
274CH	「ふなっしーが三笠を訪問」
BS TBS	「にっぽん歴史鑑定」
ディスカバリーCH	「横須賀名所巡り」

BSフジ	「司馬遼太郎と坂の上の雲」
------	---------------

イ 雑誌等への協力

協力先	協力内容
あるつく社	「歩く地図鎌倉横浜散歩 2018」
教育劇画	「戦いで読む日本の歴史」
KADOKAWA	「Walker puls」
エルクラブ	「大人の日帰り休日」
主婦の友インフォス	「月刊声優グランプリ」
内外出版	「月刊自家用車」
じゃらん	「八景島・横須賀ドライブ企画」

(11) 実習等への協力

ア 職場体験実習受入れ

次の横須賀市立中学校の職場体験実習に協力し、金物磨き及び観覧者対応を体験させた。

29. 11. 8 (水)～11. 10 (金)：常葉中学校2年生3名

30. 1. 24 (水)～1. 26 (金)：野比中学校2年生3名

イ 教育実習受入れ

宮城教育大学附属中学3年生(5名)を受け入れた。

ウ 横須賀海洋少年団への協力

横須賀海洋少年団の訓練に計6回協力した。

エ 博物館実習受入れ

8. 22 (火)～8. 27 (日)、大学生1名(大正大学)の研修を受入れ、協力した。

7 観覧者

無料観覧者を含めた総観覧者数は23.2万人で、節目の10万人(8.11(金))及び20万人(2.3(土))認定セレモニーを開催した。

(1) 有料観覧者数

月別	平成29年度	前年度比 (%)	平成28年度
	有料観覧人員		有料観覧人員
4	16,025	86.6	18,505
5	26,554	86.7	30,644
6	23,755	111.2	21,370
7	15,931	96.0	16,600
8	21,413	100.5	21,310
9	19,113	108.2	17,662
10	20,062	86.2	23,274
11	19,122	84.2	22,702
12	8,543	75.2	11,362
1	10,434	78.3	13,329
2	11,951	89.1	13,410

3	17,945	91.0	19,715
有料計	210,848	91.7	229,883
無料計	21,498	91.5	23,492
総計	232,346	91.7	253,375

(2) 観覧料収入

観覧料収入は108,083,500円（前年度比91.0%）となった。

（参考）28年度：118,763,700円 27年度：119,063,000円

(3) 団体観覧者

ア 団体観覧者数58,927名（前年度比：94.3%）

イ 団体観覧者数上位都府県 ※ ○内数字は昨年度の順位

順位	都府県	延人員（前年度比）	順位	都府県	延人員（前年度比）
1	東京①	21,651（102.4%）	6	長野⑦	1,737（76.9%）
2	神奈川②	5,574（75.4%）	7	茨城⑥	1,677（66.3%）
3	千葉③	3,665（58.2%）	8	山梨⑧	1,631（88.3%）
4	埼玉④	3,330（55.1%）	9	群馬⑨	1,602（92.7%）
5	静岡⑤	2,535（82.8%）	10	栃木⑩	1,450（97.6%）

(4) 主要来艦者

4月	防衛省職員生活協同組合理事長 鳥取市議会議員（14名）
6月	ラテンアメリカ大使御一行（7か国大使等）
7月	横須賀地方総監部幕僚長 杉本将補（離任挨拶）
8月	横須賀地方総監部幕僚長 西将補（着任挨拶） 自衛艦隊司令官主催夕食会（長官公室） 自衛艦隊司令官 山下海将ご夫妻 横須賀地方総監 道満海将ご夫妻 自衛艦隊幕僚長 井上海将補ご夫妻 米海軍第7艦隊司令官 アーコイン中将ご夫妻 米海軍第7艦隊幕僚長 グリフィン大佐
9月	上地克明横須賀市長（日本遺産認定証伝達セレモニー）
10月	富山県高岡市長 防衛装備庁プロジェクト管理部安楽岡事業監理官 韓国国防部文官（3名） 豪海軍衛生部長シャーキー准将
11月	神奈川県市長会参加の市長（10名） 財務省関東財務局長
1月	船橋市非公認マスコットキャラクターふなっしー

2月	アマコスト元駐日大使 カナダ軍参謀総長ジョナサン・バンス陸軍大将 元米国防次官ウォルスター・スローコム氏 タイ王国海軍大学校長プラチャート・シリサワット海軍少将 山本防衛副大臣（地元商工会議所研修旅行の一員として来艦） 英国第一海軍卿フィリップ・ジョーンズ海軍大将、村川海上幕僚長
3月	横須賀観光協会会長 木村忠昭氏 米国太平洋戦争博物館館長ジョセフ・トーマス氏 横須賀地方総監 道満海将、同幕僚長 西海将補（離任挨拶）

(5) 防衛省職員の研修

自衛隊の18部隊等の隊員・職員（延べ1,334名）が研修のため来艦した。

8 会 員

(1) 会員数

休眠会員（年会費3年以上未振込、郵便物送付不可等）を退会処理とした。

会員の種類		新入会員数		年度末会員数	
		29年度	28年度	29年度	28年度
個人 会 員	通常会員	62	87	941	981
	終身会員	60	67	2434	2425
	維持会員	5	11	171	169
	計	127	165	3,546	3,575
法 人 会 員	通常会員	2	3	62	63
	終身会員	1	0	24	23
	維持会員	0	0	16	16
	計	3	3	102	102
合 計		130	168	3,648	3,677

(2) 月別会費収入

（単位：千円）

年 度	4月	5月	6月	7月	8月	9月
29年度	346	228	410	324	133	287
28年度	783	268	460	266	383	129

10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
165	154	166	297	404	484	3,398
231	400	250	448	244	754	4,413

(3) 会員の増勢

ア 海自第2術科学校において上級管理講習者に対し、三笠保存会入会勧誘を2回実施した。

イ 会費未振込みの会員に対して継続をお願いするとともに、ゆうちょ銀行による年会費の自動払込利用により会員の自動継続に努めているが、29年度末で

20名と利用者が伸び悩んでいる。

## 9 運 営

### (1) 会 議

名 称	年 月 日	場 所
第21回運営委員会	29. 6. 1	記念艦「三笠」
第12回理事会	29. 6. 7	
第12回評議員会	29. 6. 23	
第22回運営委員会	29. 9. 14	
第23回運営委員会	29. 11. 17	
第24回運営委員会	30. 1. 18	東郷記念館
第13回理事会	30. 3. 14	記念艦「三笠」
第13回評議員会	30. 3. 23	

### (2) 規則の改正

三笠保存会給与支給規則（平成24年4月1日）別表「基本給表」

29. 10. 1（日）改正で神奈川県最低賃金が1時間956円となったことにより、「基本給表」の最低等級最低号俸額（4等級1号俸：141,000円）が最低賃金を下回ることとなり、これを是正するため最低等級最低号俸額を、改正最低賃金を下回らない額147,000円（6,000円増額）とし、これに倣って「基本給表」各等級各号俸額を一律6,000円増額し全部を改正した。

### (3) 職員人事

ア 職員の異動については次のとおりである。

配 置	採 用
保安係	串田 明芳
局長付	福島 良治

イ 29年度末における職員数は次のとおりである。

正職員	再雇用	パート	計
7 ※1	4	6 ※4	17 ※5

注：※印は女子職員を示し、内数である。

### (4) 関係官公庁、友好団体等行事への参加

ア 靖国神社及び東郷神社の春・秋例大祭等

イ 海上自衛隊、関係官公署、友好団体等の行事

### (5) 職員の研修

ア 6. 14（水）及び6. 15（木）の2日間、広報課長、売店店長等職員3名が、広報及び売店業務に関し、呉海事歴史資料館（大和ミュージアム）及び海上自衛隊呉資料館（てつのかじら館）を研修した。

イ 12月中旬、職員による三笠説明発表会を開催し、相互啓発を図った。

ウ 2月、職員が三笠観覧態勢の充実を図るため、「船の科学館」及び「日本未来科学館」を研修した。

### (6) 監 査

海上自衛隊横須賀地方総監との「記念艦三笠運営委託契約書」の第15条(監査)に基づき、9.21(木)横須賀地方総監部による監査を受けた。今回は、主に「28年度収支決算書」についての監査で、予算と決算の差異についての理由確認がなされたほか、三笠の船体、施設の現状確認がなされた。

## 10 売店部

### (1) 営業収入

29年度商品総売上高は54,869千円で昨年度比87.3%となった。

売上増加策として、次の新商品を開発した。

- ア マウスパッド(Z旗、三笠ロゴマーク)
- イ コースター(Z旗、三笠ロゴマーク)
- ウ ステッカー(三笠ロゴマーク)
- エ ワッペン(三笠ロゴマーク)
- オ 三笠学習帳
- カ 扇子(墨絵)
- キ 三笠ダイキャストモデル
- ク 海軍さんの珈琲フレッシュバック
- ケ ホワイトチョコランチ
- コ 三笠7色えんぴつ
- カ 三笠えんぴつ2本・4本セット
- キ 2018世界三大記念艦「三笠」カレンダー
- ク よこすか海軍カレー柿ピー
- ケ 三笠年賀はがきセット
- コ 国際信号旗クリアファイル

### (2) 通信販売

三笠ホームページ・ショッピングサイトによる通信販売実績は、取扱件数189件(昨年比97.4%)、販売金額88万9千円(昨年比133.4%、売上金額の1.8%)であった。

### (3) アマゾン出店販売

アマゾンショッピングサイトへ出店販売(艦隊コレクション写真集及び三笠カレンダー)の実績は、取扱件数31件、販売金額2万9千円であった。

### (4) クレジット決済販売

クレジットカード決済販売実績は、取扱件数1,245件、販売金額374万1千円(売上金額の6.9%)であった。

### (5) その他

売店入口の看板(券売機の紹介)、掲示板の換装